

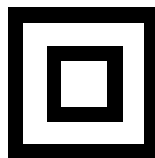
Hitachi Koki

日立携帯電子グラインダ

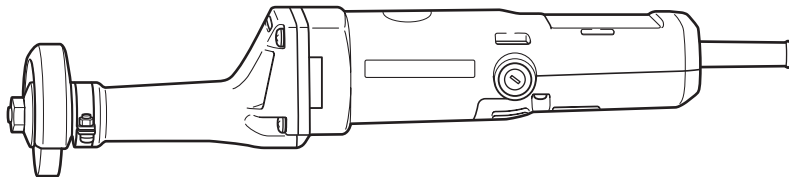
65 mm GP 7Y

取扱説明書

このたびは日立携帯電子グラインダをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



二重絶縁



HITACHI

目 次

ページ

電動工具の安全上のご注意	2
携帯電子グラインダの使用上のご注意	5
各部の名称	7
仕 様	8
標準付属品	8
別売部品	8
用 途	9
作業前の準備	10
ご使用前に	11
削 り 方	13
トイシの取付け・取りはずし	14
別売部品の取付け方	15
保守・点検	16
ご修理のときは	裏表紙

⚠警告，⚠注意，注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠警告」と「⚠注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。また、「注」の意味も説明します。

⚠警告： 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意： 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注： 製品のすえ付け，操作，メンテナンスに関する重要なご注意。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。



警 告

- ① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ 感電に注意してください。
 - 電動工具を使用中、身体を、アース(接地)されているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
- ④ 子供を近づけないでください。
 - 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
- ⑤ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
- ⑥ 無理して使用しないでください。
 - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ きちんとした服装で作業してください。
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。



警告

- ⑨ 保護メガネを使用してください。
 - 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ 防音保護具を着用してください。
 - 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ コードを乱暴に扱わないでください。
 - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。
 - 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
 - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - 継ぎ(延長)コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いてください。
 - 使用しない、または、修理する場合。
 - 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
- ⑯ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。
 - 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑰ 不意な始動は避けてください。
 - 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - さし込みプラグを電源にさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑱ 屋外使用に合った継ぎ(延長)コードを使用してください。
 - 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの継ぎ(延長)コードを使用してください。



警告

- ①9 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - 常識を働かせてください。
 - 疲れているときは、使用しないでください。
- ②0 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ②1 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
- この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。
- ②2 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。
修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

回 二重絶縁について

電気が流れる導体部と人の触れる外枠部の間が、二つの絶縁物で二重に絶縁されている電動工具であり、この製品には“回”マークを表示しています。

二重絶縁工具は、感電に対し安全性が高められています。

異なった部品と交換したり、間違っ組立てたりすると、二重絶縁構造ではなくなり、安全でなくなる場合があります。

電気系統の分解・組立や部品の交換・修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。

携帯電子グラインダの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、携帯電子グラインダとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

警告

- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。

表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、けがの原因になります。

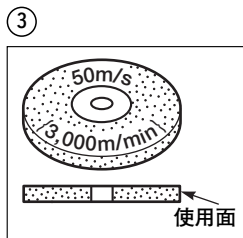
- ② ホイルガードは、必ず取付けて使用してください。

トイシが破壊したとき、けがの原因になります。

- ③ 使用するトイシ（レジノイド平形1号研削トイシ）は、最高使用周速度 50 m/s { $3,000\text{ m/min}$ } 以上の正規のトイシを取付け、正しい使用面で研削してください。

側面では研削しないでください。

正規以外のトイシを使用したり、また側面で研削すると、トイシが破壊し、けがの原因になります。（トイシ寸法は8ページの仕様欄をご参照ください）



- ④ トイシにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。

異常があると、トイシが破壊し、けがの原因になります。

- ⑤ 使用中は、振り回されないよう本体を両手で確実に保持してください。とくに始動時は気をつけてください。

確実に保持していないと、けがの原因になります。

- ⑥ 水、研削液などは使用しないでください。

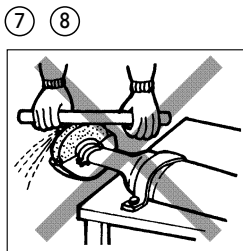
乾式用のため、トイシの破壊によるけがや感電の恐れがあります。

- ⑦ 本体を万力などで保持した使い方はしないでください。

トイシが破壊したとき、けがの原因になります。

- ⑧ 切断作業には使用しないでください。

トイシが破壊したとき、けがの原因になります。



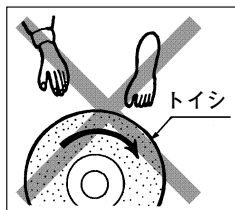
⚠ 警 告

- ⑨ 使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。

けがの原因になります。

- ⑩ 研削粉は火花となって飛散するので、引火しやすいもの、傷付きやすいものは安全な場所に遠ざけてください。また、研削火花を直接手足などに当てないようにしてください。

火災ややけどの原因になります。

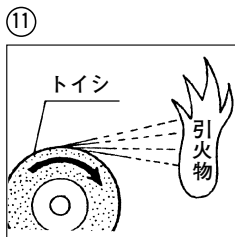


- ⑪ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。

けがの原因になります。

- ⑫ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音や異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。

そのまま使用していると、けがの原因になります。



- ⑬ 誤って落としたり、ぶつけたときは、トイシや機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

- ⑭ [事業者の方へ] トイシの取替え・試運転は、法・規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。

関連法令 労働安全衛生法 第59条
労働安全衛生規則 第36条
安全衛生特別教育規程 第2条



⚠ 注意

- ① 工具類(トイシなど)や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 新しいトイシを取付け、はじめてスイッチを入れるときは、トイシの露出部から一時身体を避けてください。
トイシが破壊したとき、けがの原因になります。
- ③ トイシを急激に加工作物へ当てたり、強く押し当てたりしないでください。
トイシにヒビ、割れなどが生じると、トイシが破壊し、けがの原因になります。
- ④ 試運転を励行してください。
試運転時間は、12ページの「6. 試運転を行う」の項をご参照ください。
試運転せずに作業開始すると、思わぬけがの原因になります。
- ⑤ 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
また、コードを引っ掛けたりしないでください。
材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。

各部の名称

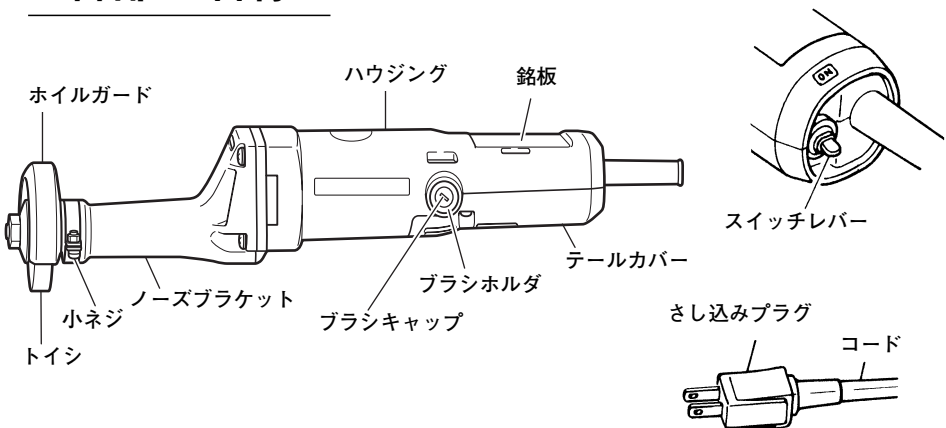


図 1

仕 様

使用電源	単相交流 50/60 Hz 共用
	電圧 100 V
モーター	単相直巻整流子モーター
全負荷電流	10.5 A
消費電力	1010 W
無負荷回転数	13000 min ⁻¹ {回/分}
トイシ寸法	外径65 mm×厚さ13 mm×穴径9.53 mm
質 量	1.9 kg (コードを除く)
コ ー ド	2心キャブタイヤケーブル 2.5 m

標準付属品

- ① 65 mm レジノイド平形トイシ (本体装着) 1 枚
- ② 片口スパナ (21 mm) 1 個
- ③ 両口スパナ (13 mm × 17 mm) 1 個

別売部品 (別売部品は生産を打ち切る場合があります。)

◎ 6 mm 軸用コレットチャック

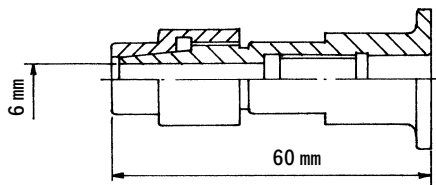


図 2

◎ 片口スパナ (13 mm)

◎ 6mm 軸付トイシ

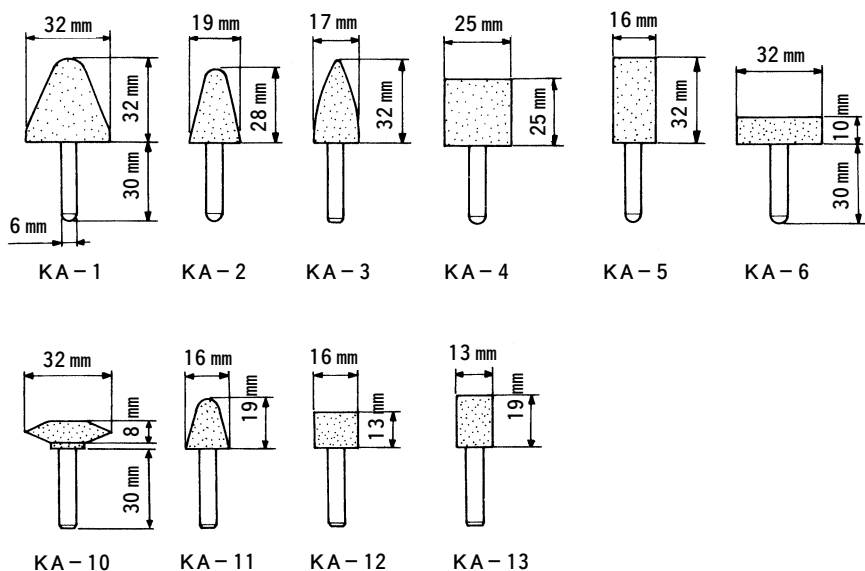


図 3 6mm 軸付トイシの寸法と名称

用 途

- 鉄，青銅，アルミ 鋳物などのバリ取りおよび仕上げ
- 溶接，溶断部の研削，さび落とし
- 合成樹脂，スレート，レンガ，大理石などの表面仕上げ

軸付トイシを取付けて

- プレス，ダイカスト，モールド型などの仕上げ研削作業
- ダイス，工具類その他小形部品の仕上げ研削作業
- 工具類，機械部品の内面研削作業

作業前の準備

作業前に次の準備をすませてください。

1. 漏電しゃ断器の確認……………

この製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

2. 継ぎ(延長)コード……………



警告

● 継ぎ(延長)コードは、損傷のないものを使用してください。

電源の位置がはなれていて継ぎコードが必要なときは、製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため、電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

導体公称断面積	最大長さ
1.25 mm ²	10 m
2 mm ²	15 m
3.5 mm ²	30 m

左の表は、使用できるコードの太さ(導体公称断面積)とその最大長さを示します。

3. 作業環境の整備・確認……………

作業をする場所が注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

薄い鋼板を研削するような場合には、作業台の状態によっては研削音が鋼板に反響して大きな騒音がでる場合があります。このような場合には鋼板の下にゴムシートを敷くなどしてよけいな騒音を出さない配慮が必要です。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に



警 告

- ご使用前に次のことを確認してください。1～4項については、さし込みプラグを電源にさし込む前に確認してください。

1. 使用電源を確かめる……………

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に速くなり、トイシや機体が破壊する恐れがあります。また、直流電源やエンジン発電機で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

2. スイッチが切れていることを確かめる……………

スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源にさし込むと不意に起動し思わぬ事故の原因になります。

スイッチはスイッチレバー(図1参照)をON(入)側に倒すと入り、OFF(切)側に倒すと切れます。

スイッチレバーがOFF(切)側になっていることを必ず確認してください。

3. ホイルガードの確認……………

ホイルガードはトイシが破壊した場合の保護のためのものですから、必ず取付けてください。ホイルガードは、小ネジ(2本)(図1参照)を少しゆるめることにより任意の角度に動かすことができます。作業に適した角度にセットしてご使用ください。調整後は、小ネジ(2本)を確実に締付けてください。

4. トイシの確認および取付け……………

トイシは正規のものか、またヒビ、割れがないか十分お調べください。トイシは正規の状態に取付けられ、十分締付けられているか点検してください。トイシの取付けは14ページ「トイシの取付け・取りはずし」の項をご参照ください。

5. 電源コンセントの点検……………

さし込みプラグをさし込んだとき、ガタガタだったり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

6. 試運転を行う……………



警 告

- 作業中は、必ず保護メガネを使用してください。
- 機体に衝撃をかけるとトイシにヒビが入ったり、割れたりする恐れがありますので、取扱いには十分注意してください。
万一機体を誤ってぶつけたり、落としたりしたときは、必ずトイシのヒビ割れや、機体に破損などがないことを十分確認してください。

トイシにヒビ、割れがあるのを気づかずに作業しますと非常に危険です。作業前には人のいない方向にトイシを向け、必ず試運転を行って異常がないことを確認してください。

試運転の時間は トイシ交換のとき…………… 3分間以上
その日の作業始めのとき…………… 1分間以上です。

7. 溶接機に注意する……………

溶接機のすぐ近くで作業すると、回転が不安定になることがあります。

削り方

注意

- 本機のスイッチを入れるときは、本機の回転部分が加工材などに接触していないことを確認してください。
接触していることを知らずにスイッチを入れると、トイシが破壊することがあり、けがの原因になります。
- 新しいトイシを取付け、はじめてスイッチを入れるときは、トイシの露出部から必ず一時身体を避けてください。

1. 押し付け方……………

トイシは被研削面に強く押し付けしないでください。本機は電子回路を採用していますので、負荷時の回転数が高く、軽く押し付けるだけで十分な研削量が得られます。

- 注** • 強く押し付けるなど異常負荷をかけると、過負荷保護回路が作動するようになっています。この場合は、回転が停止するので、直ちに無負荷にしてください。その後、スイッチをいったん切り、スイッチを入れなおすと、回転数は正規に上昇します。

2. スイッチの操作……………

スイッチはスイッチレバー(図1参照)をON(入)側に倒すと入り、OFF(切)側に倒すと切れます。

3. 使用直後の注意……………

使用後はスイッチを切って、トイシの回転が止まってから本機を置いてください。回転が止まらぬうちに切粉やごみの多い場所におきますと、切粉やごみを吸い込むことがありますのでご注意ください。

トイシの取付け・取りはずし

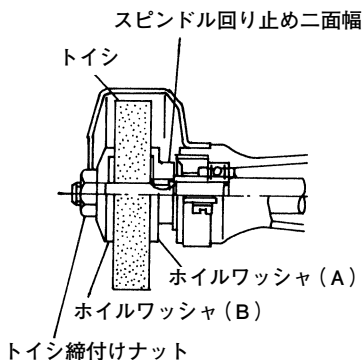
警告

- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

注意

- トイシ締付けナットを締め過ぎると、トイシが割れる恐れがあります。締め過ぎないように注意してください。
なお、ナットは回転により締まる方向のネジになっています。

トイシ交換のときは



トイシの取付け、取りはずしは図4のようにホイールワッシャ(A)にスピンドルの回り止め二面幅がありますから、この二面幅に片口スパナ(21mm)をさし込んでスピンドルの回るのを止め、トイシ締付けナットを両口スパナ(17mm側)で回してください。

図 4

別売部品の取付け方

警告

- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

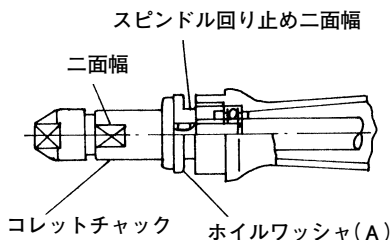


図 5

1. コレットチャックの取付け……………

コレットチャックの取付けは図5のホイールワッシャ(A)のスピンドル回り止め二面幅に片口スパナ(21mm)をさし込んでスピンドルの回のを止め、コレットチャックをスピンドルにねじ込み、コレットチャックの二面幅に片口スパナ(13mm)をさし込み締付けてください。

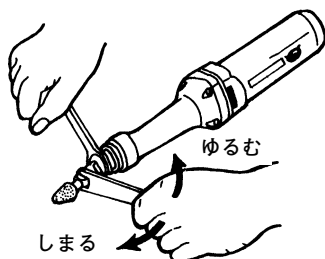


図 6

2. 6mm軸付トイシの取付け……………

トイシは外径32mm以下、軸の長さは30mmのものをご使用ください。

外径32mmを超えるトイシは、トイシの周速度が最高使用周速度を超え、破壊する恐れがありますので絶対にお使いにならないでください。トイシはスパナ(13mm)2個で簡単に着脱できます。(図6)

トイシを取付ける場合は、図7のようにコレットチャックの先端からトイシの先端部までの寸法が45mm以下、 ℓ 寸法が13mm以下になるようにしてください。

長く出しすぎますと振動が大きくなり、機体に悪影響を与えるばかりでなく、思わぬ事故をまねくことがありますので、十分注意してください。

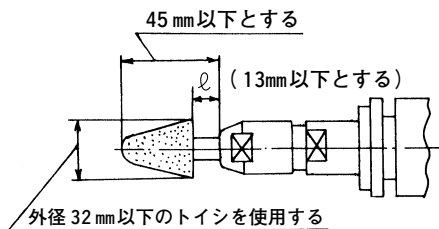


図 7

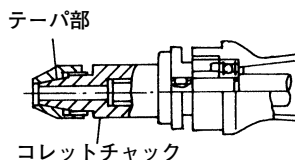


図 8

- 注** ・ 正規の軸径（6mm）より細い軸を入れたり，何も入れない状態でコレットチャックを締めることはさけてください。
コレットチャックの破損の原因になります。
- ・ トイシを取付ける場合は，図 8 に示すテーパ部にスピンドル油（ミシン油でも結構です）を少量塗布してから，コレットチャックを締めてください。

保守・点検

⚠ 警告

- ・ 点検・手入れの際は，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

1. トイシの取替え時期……………

摩耗して径が小さくなった場合は早めに新品と取替えてください。

2. 各部取付けネジの点検……………

各部取付けネジでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締め直してください。

ゆるんだままお使いになりますと危険です。

3. カーボンブラシの点検……………

モーター部には，消耗品であるカーボンブラシを使用しております。

カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと，モーターの故障の原因となりますので，長さが摩耗限度（5mm）ぐらいになりましたら新品と交換してください。

また，カーボンブラシはごみなどを取除いてきれいにし，ブラシホルダ内で自由にすべるようにしておいてください。

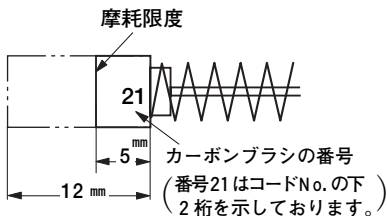


図 9

- 注** ・ 新品と交換の際は，必ず図示の番号（21）の日立カーボンブラシを使用してください。

交換方法

カーボンブラシは，マイナスドライバーなどでブラシキャップ（図 1 参照）をはずしますと取り出せます。

4. モーター部の取扱いについて……………

モーター部の巻線部分の本機の心臓部ともいえます。巻線部分にキズをつけたり、洗油や水をつけたりしないよう十分注意してください。

注 • モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

50時間ぐらい使用しましたら、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をテールカバーの風穴から吹き込んでください。ごみやほこりの排出に効果があります。

5. 表面の汚れの清掃……………

本機の外枠は強じんな合成樹脂製ですが、ガソリン、シンナー、石油、灯油類を付着させると表面を傷めます。

清掃の場合は、乾いた布か石けん水をつけた布などでふいてください。

6. 製品や付属品の保管……………

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- | | | | |
|---|--|---|---------------------|
| { | <ul style="list-style-type: none">○ お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所○ 軒先など雨がかったり、湿気のある場所○ 温度が急変する場所○ 直射日光の当たる場所○ 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所 | } | このような場所
には保管しない。 |
|---|--|---|---------------------|

※ (外観などの一部を変更している場合があります。)

メ

モ

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておかれますと、
修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年 月 日	製造番号(NO.)
販売店(TEL)		

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00~17:00

●フリーダイヤル

 **0120-20-8822**

※携帯電話からはご使用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	●北陸支店
TEL (03) 5783-0626	TEL (076) 263-4311
●北海道支店	●関西支店
TEL (011) 896-1740	TEL (0798) 37-2665
●東北支店	●中国支店
TEL (022) 288-8676	TEL (082) 504-8282
●関東支店	●四国支店
TEL (03) 5733-0255	TEL (087) 863-6761
●中部支店	●九州支店
TEL (052) 533-0231	TEL (092) 621-5772

■ 営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスして最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。

<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス



右のQRコードをバーコードリ
ーダー機能付きの携帯端末より
読み取ることで、最新の全国営
業拠点をご確認いただけます。

日立工機株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号(品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ—<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>